

あざれあ便り



KURUME COLOPROCTOLOGY CENTER

CONTENTS

- ◆特集：クローン病
- ◆第16回高野会研究発表会
- ◆排泄ケア市民公開講座
- ◆学会発表の報告
- ◆外来担当医一覧



野ぼたん（英語名：Merastoma） 花言葉：自然
名前は日本的ですが、実は熱帯アジア原産の小低木です。紫色の花が印象的です。

理 念



TAKE FREE ご自由にお持ち帰りください

NO.21

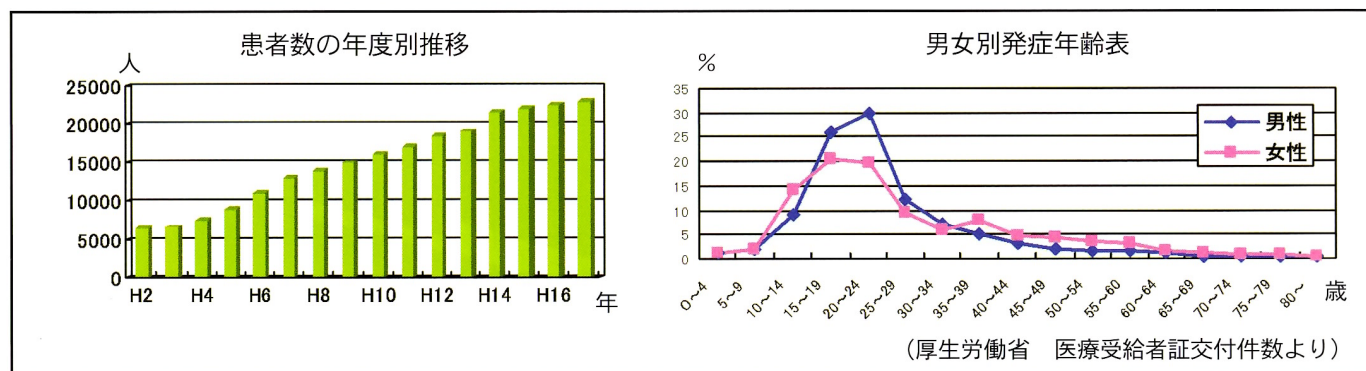
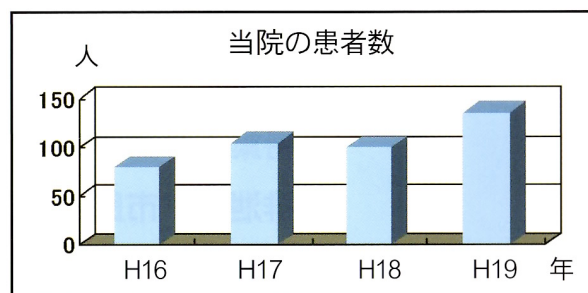
クローン病

クローン病ってどんな病気？

クローン病は口腔から肛門までの消化管のあらゆるところに繰り返し起こる慢性の炎症性腸疾患です。非連続性、非対称性の病変が特徴で英語ではCrohn's Disease (CD)と呼ばれ、厚生労働省特定疾患に認定されています。特定疾患医療受給者証交付件数では、2007年で約23,500人でした。毎年約1500人ずつ発症しており、世界的にみると欧米諸国に多い病気です。10歳後半～20歳代と若い世代に好発し、男性2人に対し女性1人の割合で発症しています。

クローン病の患者さんでは、TNF- α という本来は身体を守るはずのサイトカイン※が過剰に作り出され、これが小腸や大腸を傷つける（炎症が起こる）ことがわかっています。この炎症によって腸に潰瘍ができ、腹痛や下痢などの症状があらわれます。

※サイトカイン：
生体内物質の一種でごく微量でも大きな作用を及ぼします。



クローン病の症状

炎症を生じる病変部位によって症状は異なります。腹痛と下痢がもっとも多く、さらに、発熱、下血、腹部腫瘍、肛門病変、吸収障害による体重減少、全身倦怠、貧血などの症状もみられます。また瘻孔（腸管などに管ができ、トンネル状になる）、狭窄（腸管が狭くなる）、膿瘍（膿がたまる）形成などの腸管におこる合併症と腸管以外におこる腸管外合併症があります。

CDAI値（クローン病の活動指数）

クローン病の治療を行う上で、症状の程度をみるための指標が必要です。下に示した1～8の項目をもとに算出します。値が大きいほど症状が強く、小さいほど症状が軽く、150未満は症状が落ち着いている状態（緩解）、150～450を活動期、450以上をきわめて重症としています。

1. 下痢の回数	5. 下痢止め薬の使用
2. 腹痛の有無	6. 腸管合併症の有無
3. 主観的な一般状態	7. ヘマトクリット値
4. 腸管以外の合併症の有無	8. 体重

クローン病の内科的治療

○インフリキシマブ（IFX）療法（レミケード®療法）

レミケードは、炎症の原因であるTNF- α に対してその働きを抑え、TNF- α をつくっている細胞そのものを壊します。

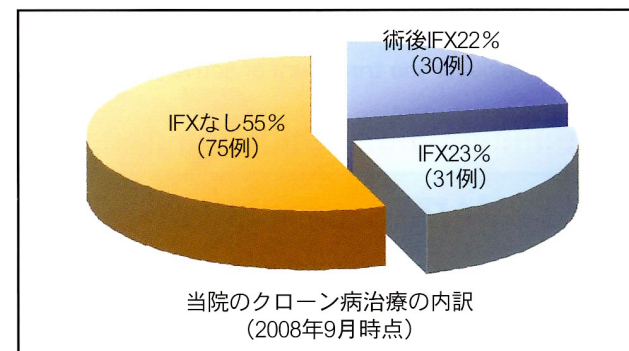
まず、初回、2週間後、6週間後に点滴治療を行い、それ以後は8週おきに点滴します。1回の治療時間は約2時間で、中等度から重度の活動期にある患者さんの90%以上に改善効果を認めています。（当院データによる）

＜注意点＞

- ・TNF- α を抑制することにより、抵抗力が弱まり、感染症にかかりやすく、また症状が悪化する可能性があります。
- ・肺のレントゲン検査やツベルクリン検査、痰の検査で肺結核感染の有無を確認することが必要です。

＜副作用＞

- ・点滴中の発熱、頭痛、発疹など
- ・感染症
- ・肝機能障害
- ・白血球減少 など



○薬物療法

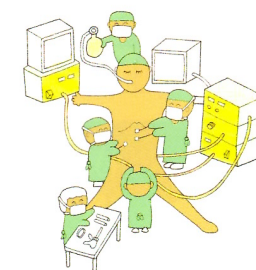
薬 剤	クローン病の活動期（軽症～中等度）		クローン病の活動期（重症）		クローン病の痔瘻		クローン病術後の維持療法
	緩解導入	維持	緩解導入	維持	緩解導入	維持	
5-ASA 〔ペンタサ ・サラゾピリン〕	+	-	?	?	?	?	-
6MP、AZP	-	-	-	+	-	+	+
ステロイド	+	-	+	-	?	?	-
インフリキシマブ療法 (レミケード®)	?	?	+	+	+	+	?

(+ : 治療効果あり - : 治療効果なし ? : まだ治療効果は出ていない)

クローン病の外科的治療

クローン病患者さんのほとんどは内科的治療で症状をコントロールできますが、次のような場合は外科手術が必要になります。

- ・大量の出血
- ・穿孔による腹膜炎
- ・大腸がんの合併
- ・難治性の狭窄
- ・腸閉塞
- ・肛門病変（痔ろう、肛門周囲膿瘍）



開腹せずに、お腹に開けた小さな穴から手術する「腹腔鏡手術」も行われるようになりました。術後の痛みが少ない、手術の傷が小さいなどの利点があります。

第16回 高野会研究発表会

平成20年6月22日(日)に毎年恒例の高野会研究発表会を開催しました。この研究発表会は今年で第16回目を迎え、くるめ病院と関連病院である高野病院とが医療の質の向上・業務の効率化を図るために、取り組んだ成果や研究を発表する場です。

今回は「大腸肛門専門病院のさらなる飛躍を目指して」をテーマとし、診療部だけではなく事務部も含め各部署から29題の発表がありました。本会を通して、日頃の臨床の場における問題点などを提起し、研究・改善を行い、また、患者様の満足度向上に繋がるよう研鑽を重ねています。

発表演題一覧

セッション1 NST・IBD

1. クロウン病患者におけるCDAIと栄養指標との関係について
2. 入院クロウン病患者に対するNST介入の効果—データベースの検討—
3. 当院炎症性腸疾患患者支援についての一考察—「IBD LETTER」のアンケート分析から—

セッション2 排泄ケア・肛門疾患

4. ROMEⅢ診断基準による過敏性腸症候群のサブタイプに関する検討
5. 当院におけるROMEⅢのF3症例に対するバイオフィードバック療法の意義
6. 肛門感覚の改善により肛門収縮力が上昇した症例 —多職種による便秘治療への関わり—
7. 排泄機能と姿勢に関する研究の一考察 —理学療法士として排泄姿勢に関与して—
8. ALTA療法(ジオン四段階注射療法)について～当院の治療実績～

優秀賞

セッション3 検査

9. 便流量測定の特徴的波形についての検討

アイデア賞

10. ディフェコグラフィ(排便造影)検査環境の改善
11. 肛門コンプライアンス検査の検討
12. 上部消化管における造影剤の評価 ～味付けと低量化による統計学的検討～

セッション4 大腸癌・内視鏡・緩和ケア

13. 全大腸内視鏡検査後の症状および苦痛度に関する調査報告
14. リン酸ナトリウム製剤(ビジクリア錠®)の有効性
～ポリエチレングリコール製剤(ムーベン®)との比較
15. 当院における緩和ケアの現状
16. 当院におけるペバシズマブ(アバステン®)使用症例調査

努力賞

17. CRESTプロジェクト推進の創意と工夫
—同意1000例達成への軌跡—

セッション5 業務

優秀賞

18. SPDシステムの導入 —経費削減と業務改善—
19. 入退院のカルテチェック方法の検討

最優秀賞

20. 看護師確保に向けての取り組み
21. 動物介在活動実施施設の職員に対する意識調査

セッション6 看護

22. 2交代制導入を試みて
23. 麻酔器用国産CO₂吸収剤改良のための基礎実験
24. 当院におけるストーマ・排泄ケアカンファレンス導入後の現状と考察
25. 尋常性乾癬をもつ患者の回腸瘻造設後のストーマケア

セッション7 健診

26. 便潜血検査郵送法の確立へ向けて 第1報 —温度変化が及ぼすHb活性への影響—
27. 便潜血検査における高濃度陽性者のより有効なフォローシステムの検討
28. 効果的な保健指導の検討
29. 健康管理課システムについて





排泄ケア市民公開講座 in 2008



●日時：平成20年**12月6日(土)**
14:00~17:00 ※開場13:30

●場所：**えーるピア久留米 視聴覚ホール**
久留米市諏訪野町1830-6 TEL:0942-30-7900

テーマ

認知症と排泄ケア

開会挨拶：富安克郎先生(久留米大学泌尿器科学教室 講師)

参加費 **無料**
定員 250 名

時 間	内 容
第1部 14:10~	演題名：認知症をやさしく理解する 講師：鹿井博文先生(雁の巣病院 副院長)
15:00~	～休 憩～
第2部 15:05~	演題名：認知症の排尿障害について 講師：山下博志先生(日本海員掖済会門司病院 泌尿器科部長)
15:55~	～休 憩～
第3部 16:00~	演題名：高齢者の便秘について 講師：荒木靖三先生(大腸肛門病センター くるめ病院 院長)

申し込み方法

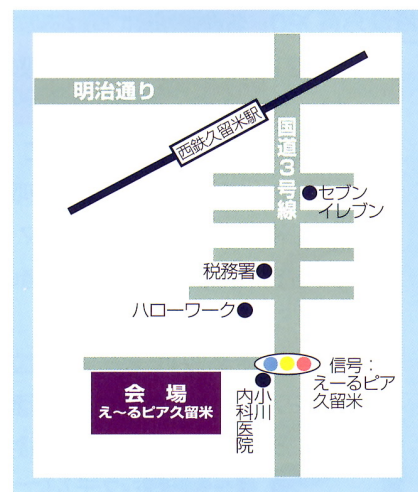
お名前、参加人数、住所、連絡先、(医療関係者の方は勤務先名)を明記の上、下記までお申し込み下さい。
ご質問がある方は内容もご記入下さい。(全ての質問にお答えできるとは限りませんので、ご了承下さい。)

＜申し込み先＞日本コンチネンス協会九州支部

E-mail: haisetsu2008@yahoo.co.jp

FAX: 0942-45-2613

共催 日本コンチネンス協会九州支部 大鵬薬品工業株式会社
後援 久留米医師会 福岡県泌尿器科医会
筑後泌尿器科医会 福岡県看護協会



学会・論文発表の報告

平成20年6月～9月

学会発表

H20.6.7

第3回九州消化器GCAP療法研究会（福岡）

小篠洋之：潰瘍性大腸炎術後の活動期回腸嚢炎に対する白血球除去療法

H20.7.5

第18回骨盤外科機能温存研究会（宇都宮）

荒木靖三：女性の会陰ヘルニアの診断と膀胱脱に対する経膈的Mesh repair

H20.7.12

日韓外科ミーティング（韓国）

中川元典：Defecation diagnosis for hemorrhoids

H20.7.16-18

第63回日本消化器外科学会総会（札幌）

荒木靖三：消化器外科医必見の肛門括約筋不全の診断と治療法

野明俊裕：下部消化管手術におけるSSI対策とその効果

岩谷泰江：肛門病変の既往を持つクローン病患者に対する計画的レミケード治療

H20.9.6

第18回九州内視鏡下外科手術研究会（熊本）

中川元典：大腸部門における技術認定に向けた取り組み

H20.9.6

第14回大腸肛門機能障害研究会（東京）

野明俊裕：会陰ヘルニアにおける骨盤内臓器下垂の画像診断と治療

種子田美穂子：認知症と前頭葉障害を伴う巨大結腸症患者の排泄ケアの一症例

中尾 真由美：当院におけるF3（ROMEⅢ）症例に対する

バイオフィードバック療法の意義

村田奈理加：外来での排泄障害における理学療法の介入の実験

H20.9.13

第171回大腸肛門病懇談会（東京）

荒木靖三：当院におけるCrohn病術後の計画的Infliximab治療

論文発表

Leukocytapheresis for the treatment of active pouchitis : a pilot study

Yasumi Araki, et al

Journal of Gastroenterology Vol.43 No.7

外来担当医一覧表

平成20年10月現在

	午 前									専 門 外 来
月	高 野	荒 木	野 明	藤	中 川	岩 谷		鍋 山	豊 永	ヘルニア外来(午前中)
火		荒 木	野 明	藤		岩 谷	小 篠	鍋 山	豊 永	IBD外来※1 (午前中)
水		荒 木	野 明		中 川	岩 谷	小 篠	鍋 山	豊 永	
木		荒 木		藤	中 川	岩 谷	小 篠		豊 永	
金			野 明	藤	中 川		小 篠		豊 永	ヘルニア外来 (午前中) 女性外来※2 (午前中予約制)
土		荒 木	野 明	藤	中 川	岩 谷	小 篠	鍋 山		IBD外来※1 お通じ外来※3
日	担 当 医 より 1 名									

☆専門外来は予約制となっております。 ※1 光山(久留米大学)：毎週火曜午前中・第1土曜、荒木：毎週土曜

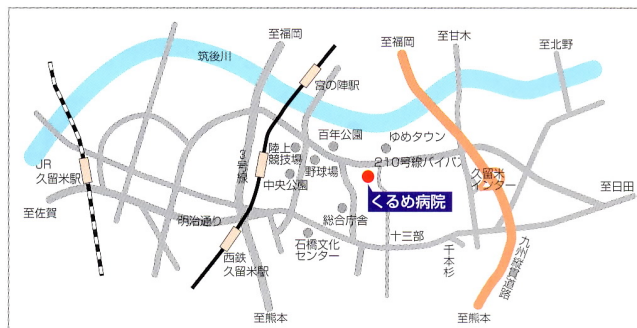
※2 佐藤(久留米大学) ※3 壬生(九州大学)・荒木：第2・4土曜

☆ストーマ外来：毎日行っております。(特に予約は必要ありませんが午後はご予約下さい。)

診療科目／肛門科・胃腸科

診療受付時間

		受 付 時 間	診察開始時間
平 日	午前の部	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
	午後の部	午後1:00～午後4:30	午後2:00～
土曜日	午前中のみ	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
日曜日	午前中のみ	午前8:30～午前11:30	午前9:00～



No.21

企画・発行

特定医療法人社団高野会
くるめ病院 地域医療連携課

〒839-0865 久留米市新合川2丁目2-18
TEL (0942)43-5757(代)
FAX (0942)43-6959

※専門病院としてのさまざまな医療情報を
掲載したホームページを開設しています。
<http://www.uproad.ne.jp/kurume/>

※携帯版ホームページは
こちら →



特定医療法人社団高野会
くるめ病院
(旧日高病院)
大腸肛門病センター